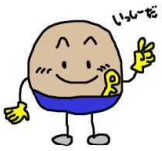
石田小学校だより　平成２９年度　特別号（第９号）



悠紀だより

平成２９年１０月２６日　　発行責任者　校長 高野政文

本校の学力・学習状況をお知らせします

本年度の全国学力・学習状況調査は４月１８日（火）に，全国の小学校第６学年及び中学校第３学年の全児童生徒を対象に実施されました。本校でも，６年生５９名が参加しました。

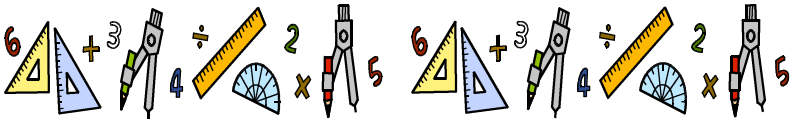
調査内容は，大きく①教科に関する問題（国語・算数）と，②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に分かれ，国語と算数はＡ：主として「知識」に関する問題と，Ｂ：主として「活用」に関する問題に分かれています。

この調査は，本校の児童の学力や学習状況を把握・分析し，各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより，今後の指導内容や指導方法の改善や生活指導などに役立てることを目的とします。

８月２８日に文部科学省から本校の結果が送られてきました。本校でも運動会などの学校行事への取組と並行して，調査結果の分析を行ってまいりました。このたび分析結果がまとまりましたので，その概要を保護者の皆様にお知らせするとともに，本校のホームページにも掲載していきたいと思います。

なお，調査に参加しました６年生一人一人には，個別懇談会を利用して個人票をもとに，具体的に課題等について説明していく予定です。よろしくお願いいたします。

分析結果の概要



１　本校の状況（全国との比較）

本校の国語の結果は，国語Ａは全国平均とほぼ同等ですがやや上回りました。国語Ｂは，全国平均をやや上回りました。算数では，算数Ａは全国平均とほぼ同等ですがやや上回りましたが，算数Ｂは全国平均とほぼ同等ですがやや下回りました。

この調査の結果につきましては，山梨県教育委員会の分析にもあるように，全国平均正答率のプラスマイナス５ポイントの範囲にあるものは，ほぼ同等であると考えています。

２　教科ごとの状況と課題（　○は結果が良好なもの，□は課題と思われるもの　）

国　語

Ａ　主として「知識」に関する問題

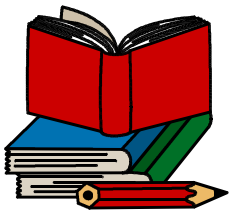
○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む問題については，本校の平均正答率は全国平均正答率を上回っている。

○互いの話を聞き，考えの共通点や相違点を整理しながら，報告者が言いたいことを選択する問題の正答率は全国を大きく上回っている。
○俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する問題の正答率は全国を大きく上回っている。
○ことわざの使い方の例として適切なものを選択する問題の正答率は全国を大きく上回っている。
□目的に応じて，文章の中から必要な情報を見付けて読む問題は，全国と比べると正答率が低く，目的に応じて中心になる語や文，段落を適切にとらえて読む力が不十分である。
□学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く問題については，全国を下回っている。同音異義語での間違いが多かった。

□漢字を書く
（参加たいしょう）
（４年生のきぼう者）
（箱がおいてあります）
○漢字を読む
（申しこみ期限）
（事務室前）
（指示）

B　主として「活用」に関する問題

○目的や意図に応じ，必要な内容を文中の言葉を用いて整理して書く問題では，全国平均を大きく上回る正答率であり，その力は身についている。
○目的や意図に応じて，話の構成や内容を工夫し，場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す(書く)問題では，全国平均を上回っている。
□記述回答で，指定された文中の言葉が使われていなかったり，２つ書くところが１つだったりと，問題の中であげられた条件を満たしていない回答が多い。



算　数

A　主として「知識」に関する問題

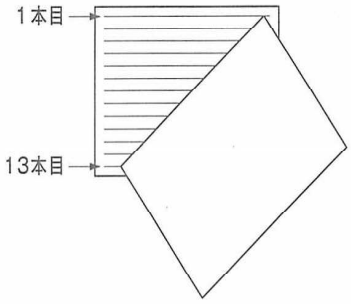
○整数の乗法の計算や，小数と整数の加法の計算は正答率が高い。
○商を分数で表す問題の正答率は高く全国平均を大きく上回った。
○高さが等しい平行四辺形と三角形について底辺と面積の関係を求める問題や，円を使って正五角形をかくとき，円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを記述する問題の正答率は全国平均を大きく上回った。
□加法と乗法の順番を間違えた答えが多く，正答率は全国平均を下回った。
□重さ，長さについて，任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ問題では，直接比較と間接比較とを間違えた答えが多く見られた。

○１２３×５２を計算する
○１０．３＋４を計算する

□６＋０．５×２を計算する

B　主として「活用」に関する問題

○示された考えを解釈し，数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを，図に表現する問題では，正答率が全国を大きく上回った。
□１３本の直線を使う場合，手紙の用紙の長い辺を３等分するのは，何本目の直線と交わった点かを書く問題では，１本目を数え忘れた間違いが多く見られた。
□料金の差を求めるために，示された資料から必要な数値を選び，その求め方と答えを記述する問題では，重さと料金の関係がわかっていなかったり，筋道を立てて考えることができなかったりした間違いが多かった。



(2) 13本の直線のうち，手紙の長い辺と交わった点が，その辺を３等分する点になるのは，上から何本目と何本目の直線ですか。
答えを書きましょう。

３　教科における主な改善点

国　語

※学習した漢字を繰り返し書いて練習することのみならず，様々な場面で漢字のもつ意味を考えながら，実際に文や文章の中で正しく使うことができるように指導する。

※「何のために調べるのか」，「何について調べるのか」など，調べる目的や事柄を明確にした上で，本や文章を選び，その中の記述や説明から課題を解決するために中心となる語や文を捉え，必要な情報を見つけてまとめることができる力を育てる。

※物語を読む際は，登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え，そのことによって，内面にある深い心情も合わせて捉えることができるように指導する。

※朝読書や読み聞かせなどを利用して多くの物語に触れる機会を増やすとともに，読書活動のさらなる推進，目次や索引を活用した本を効果的に読む指導も進める。

算　数

※学習の中に日常生活の事象と関連付けた場面を設定し，計算に習熟したり生活や学習に活用したりすることができる機会を増やす。

※児童が，既習の量の比較や測定の方法を想起して，新たに学習する量の比較や測定に活用することができるように，既習の内容を振り返ったり，比較や測定の方法について見通しをもったりすることができるような場面を工夫する。

※日常生活の問題の解決のために，必要な情報を選択して数学的に処理したり，示された方法を場面に応じて適応したりする学習を充実する。

※問題を解決するために，目的に合った適切な表やグラフを選択し表したり，読み取ったり，グラフ同士を関連付けて解釈したりするなど，目的に応じて表やグラフを活用できるようにする。さらに，棒グラフは数量の大きさを示し，帯グラフや円グラフは数量の割合を示すなどの目的があることを理解できるようにする。

４　質問紙調査の主な特徴（全国との比較）

（　○は結果が良好なもの，□は課題と思われるもの　）

生活習慣について

○「毎日同じくらいの時刻に寝ている（起きている）」と回答した児童の割合は，全国平均を上回っており，規則正しい生活のリズムが定着できている。

○平日のテレビ・ビデオ・ＤＶＤの視聴時間が「３時間以上」と回答した児童の割合は低く，全国に比べても下回っていて，視聴時間は短い。

○「平日にゲームをする時間が１時間より多い」と回答した児童の割合は低く，全国に比べて，ゲームをする時間は短い。

○「平日に１日あたりどれくらいの時間，携帯電話，スマートフォンで通話やメール，インターネットをする」という質問で，「持っていない」と回答した児童が４割ほどいて，持っていても使用時間は「３０分より少ない」割合が一番高く，全国に比べてもメールやインターネットをする時間は短い。

学習に対する関心・意欲・態度について

○「学校へ行くのは楽しい」と回答した児童の割合は高く，全国に比べて大きく上回っている。

○「国語・算数の勉強は好き」と回答した児童は，全国と比べて，大きく上回っている。

○「読書が好き」と回答した児童は，全国を大きく上回っている。

○「国語・算数の授業で学習したことは将来役に立つ」と回答した児童の割合は高く，全国と比べて上回っている。

□「授業で扱うノートには，学習のめあてとまとめを書いている」と回答した児童は，全国と比べて下回っている。

家庭学習について

○「平日の１日あたりの読書時間」では，「１０分より少ない」と回答した児童が全国と比べてとても少なく，本校の児童の読書時間は長い。

○「学校の授業の予習をしている」と回答した児童は，全国とほぼ同等であるが，「学校の授業の復習をしている」と回答した児童は全国と比べて上回っている。

□「平日に１日あたりどれくらいの時間，勉強をするか（学習塾，家庭教師も含む）」という質問で，「２時間以上」「３時間以上」と回答した児童の割合は低く，全国に比べてやや下回り，全体的に家庭学習の時間はやや短い。土日に１時間以上家庭学習をしている児童は，全国とほぼ同等である。

地域とのかかわりについて

○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童は，全国と比べて上回っている。

○「ボランティア活動に参加している」と回答した児童は全国と比べて上回っている。

○ニュースを見ている児童は，全国に比べて上回っている。

○外国のことや外国の人のことに興味がある児童が多い。

５　質問紙調査からの改善点

※寝る時刻と朝起きる時刻が規則的で定着しているため，生活のリズムが乱れていないようである。引き続き規則正しい生活が送れるように家庭と連携して取り組んでいく。

※読書好きの児童が多いので，読み聞かせや朝読書・図書館での授業のさらなる改善によって，より一層読書活動の推進に努める。

※授業の中で学習のめあてやまとめは示されているのに，ノートに記録していないので，ノート指導を行うとともに，書く時間の確保に努める。

――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――

家庭での学習習慣の定着に御協力を！

――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――

質問紙調査の結果を見ると，おおむね良好で，本校の児童は学校に行くのは楽しいと感じていて，友達に会うことも楽しいと感じていることがわかりました。また，学習に対する関心・意欲・態度の意識も高く，読書をすることが大好きであるという良い面がたくさんあり，物事をとても肯定的にとらえていることがわかりました。

また，規則正しい生活と携帯電話，スマートフォンの使用やゲーム，インターネットなどの自己管理ができており，これは，御家庭の御支援によるところがとても大きいと考えられます。

しかし，学校以外で勉強している時間は，年々増えてきているのですが，全国と比べるとまだ少ないようです。これからも継続して計画的に家庭学習に取り組んでいけることを期待しています。

学校でも宿題の出し方などについてさらに工夫改善し，児童自らが自主的に学習に取り組むことができるように働きかけていきたいと考えています。

各御家庭におきましてもさらに家庭学習の習慣が定着できるよう，学習環境を整えるなど，御理解と御協力をよろしくお願いいたします。